

## 令和7年度 第4回全体庁議（8月1日開催）

|    |               |              |                               |
|----|---------------|--------------|-------------------------------|
| 区分 | 審議・ <b>報告</b> | 案件名<br>(担当部) | (1) 地方大学・地域産業創生交付金事業について〔経済部〕 |
|----|---------------|--------------|-------------------------------|

### ■ 提案・報告の趣旨

国の「地方大学・地域産業創生交付金」事業について、申請していた帯広市の事業計画が令和7年7月29日付けで採択されたことから、令和7年8月26日の経済文教委員会に報告するもの。

### ■ 提案・報告の主な内容(概要)

- 地方大学・地域産業創生交付金の概要  
「地方大学・産業創生法」に基づき、地域の産官学が連携し、地域における大学の振興、これを通じた地域における中核的な産業の振興及び当該産業に関する専門人材の育成を行うことにより、若者の雇用創出と大学改革を一体的に推進する取り組みを支援するもの。  
10年間の計画を総理大臣が認定し、原則5年間交付金により取り組みを支援するもの。
- 事業目的  
十勝の地域特性を生かし、畑作と酪農が有機的に連動した持続可能な農畜産業に移行することで、生産基盤の安定化を図り、農畜産物の収量・品質を確保するとともに、農畜産物の特性に合った食品加工技術の研究・開発し、消費者ニーズに応える商品開発・市場開拓につなげることで、地域内経済の好循環を実現する。  
大学改革として、3大学融合教育プログラムの開発・実施を担う組織、次世代農畜産及び食品加工に関わる組織を機能強化・整備するとともに、トップレベル研究者を招聘することで研究力を強化し、その成果を教育プログラムに還元することで魅力ある大学づくりに取り組む。
- 推進主体  
帯広市、とかち財団、北海道国立大学機構（帯広畜産大学、小樽商科大学、北見工業大学）、北海道（協力機関）
- 事業内容  
(1)大規模農業生産基盤強化事業  
(2)酪農・畑作バリューチェーン強化事業  
(3)人材育成事業  
(4)大学改革事業
- 計画の目標(KPI) ※令和6年度⇒令和16年度  
(1)十勝の農業産出額の増加額:312億円  
(2)食料品製造業の帯広市内新規雇用者の増加数:80人(10年間累計)  
(3)帯広畜産大学卒業生の帯広市内就職者の増加数:110人(10年間累計)  
(4)大学改革の実現(新組織の設置による産学連携体制、教育プログラムの強化・充実)  
(5)大学と事業者が連携して行う取組(共同研究等)の増加数:140件(10年間累計)
- 計画申請における事業費(5年間)  
交付対象事業費総額 588,515千円

### ■ 今後のスケジュール

- ・ 令和7年9月 本年度分の事業に係る関連予算の提案
- ・ 令和7年10月 事業開始予定

### ■ 審議結果

- ・ 同内容で、8月26日開催の経済文教委員会へ報告することで了承された。

### ■ その他、指摘事項等

- ・ 特になし